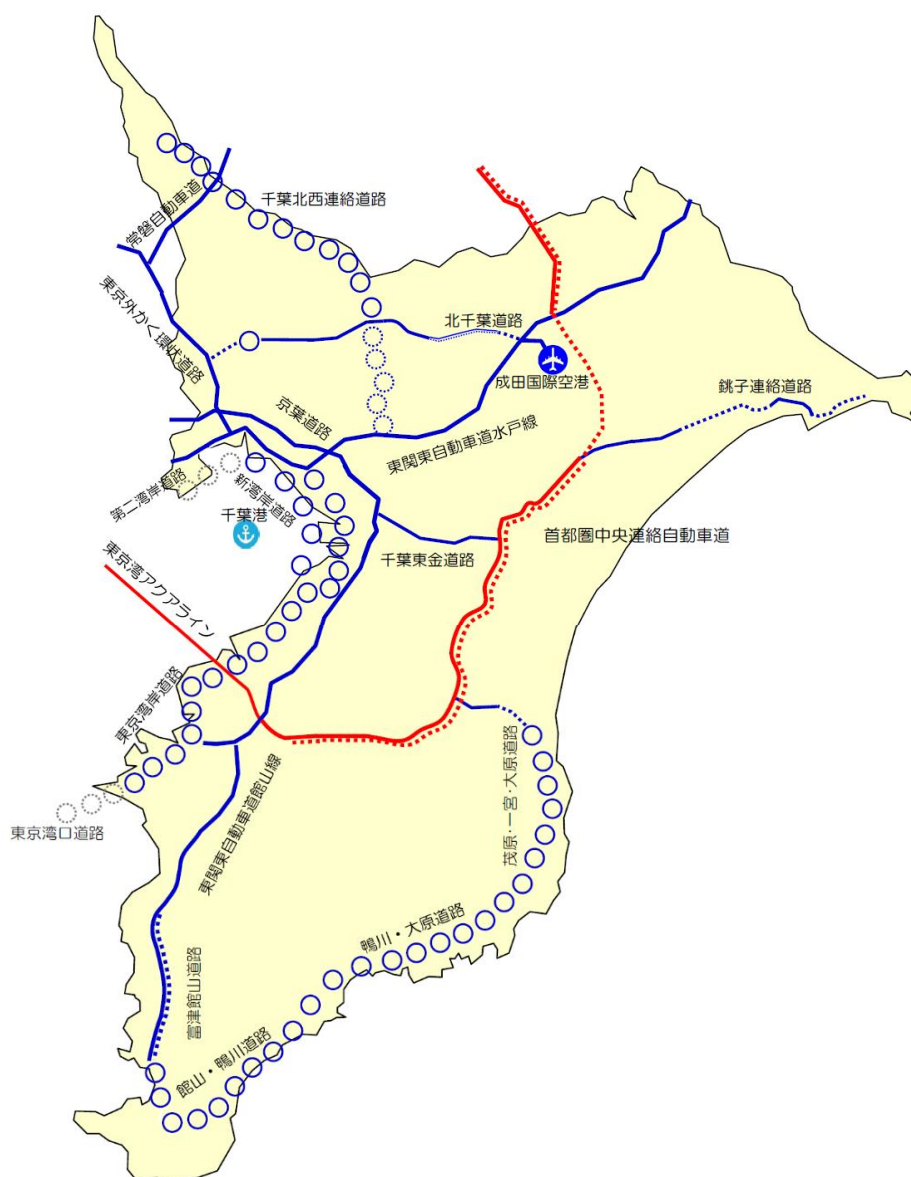


首都圏中央連絡自動車道の整備促進に関する 要 望 書

令和6年8月9日

様



首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会

会長 千葉県知事 熊谷 俊人



首都圏中央連絡自動車道の整備促進に関する要望書

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の千葉県区間につきましては、関係者の方々のご尽力により整備の推進が図られていることに、心から御礼申し上げます。

圏央道はアクアラインと一体となって、首都圏の各都市と成田国際空港などの拠点間を環状につなぎ、首都圏の広域道路ネットワークを形成する極めて重要な高規格道路です。

県内の圏央道周辺地域では、観光施設への入込客数の増加や、物流施設等の立地の進展など経済に好循環をもたらすストック効果が現れております。

また、国土強靱化を図り、地方創生と地域経済の活性化を実現するなど、ストック効果を県内はもとより、首都圏に広げていくためにも、圏央道の早期完成が必要不可欠であり、「人」と「モノ」の流れがより活性化することで、我が国経済のさらなる好循環に結びつき、国際競争力が強化されることが期待されます。

つきましては、圏央道の 1 日も早い全線開通と、整備効果をさらに高めるための、インターチェンジやパーキングエリアの更なる整備等に、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

記

- 1 大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和 8 年度までの開通に向け、確実に事業を進めること。併せて、大栄ジャンクションから国道 296 号インターチェンジ（仮称）間については、1 年程度前倒しでの開通に向け確実に事業を進めること。
- 1 県境から大栄ジャンクション間の 4 車線化については、令和 7 年度から令和 8 年度までの開通に向け確実に事業を進めること。また、事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間の 4 車線化については、一日も早く工事に着手すること。

- 1 4車線化未事業化区間については「成田空港の更なる機能強化」による交通量の増加に対応するため、「高速道路における安全・安心基本計画」の優先整備区間に選定し、早期事業化を図ること。
- 1 かずさアカデミアパークへのアクセス強化のため、地域プロジェクトの支援として設置が発表されている、(仮称)かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
- 1 「地域活性化インターチェンジ制度」が、成田国際空港及び周辺地域と圏央道を結ぶ新たなインターチェンジに適用されるよう、所要の措置を講ずるとともに、事業化に向け、必要な助言を行うこと。
- 1 神崎パーキングエリア(仮称)の内回りについては、令和7年度、外回りは令和7年度から令和8年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア(仮称)については、早期供用を図ること。
- 1 圏央道のストック効果を最大限発揮させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が、確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。
- 1 首都圏における交流・連携の強化、地域経済の活性化等、東京湾アクアライン通行料金引下げが首都圏にもたらす効果等を十分踏まえ、「アクアライン割引」を継続すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を確保すること。また、令和6年能登半島地震などを踏まえ、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、切れ目なく、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めるために必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- 1 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要な資機材の更なる確保に取り組むこと。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和7年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、必要な予算を満額確保すること。

圏央道千葉県区間の開通と早期4車線化

圏央道沿線では、企業立地が加速



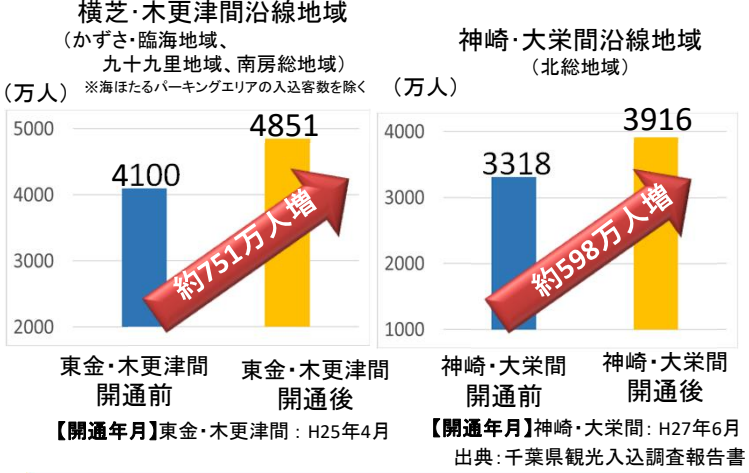
出典: 企業立地動向調査(千葉県企業立地課)をもとに作成

- 沿線地域に工業団地を造成
- ・茂原にいほる工業団地(約19ha)→全て売却
- ・袖ヶ浦椎の森工業団地(約32ha)→全て売却
- ・かずさアカデミアパーク(約278ha)→ほぼ完売

観光客の増加

- 平成30年の本県の圏央道沿線地域では
- ・横芝・木更津間で平成24年から約751万人増加
- ・神崎・大栄間で平成26年から約598万増加

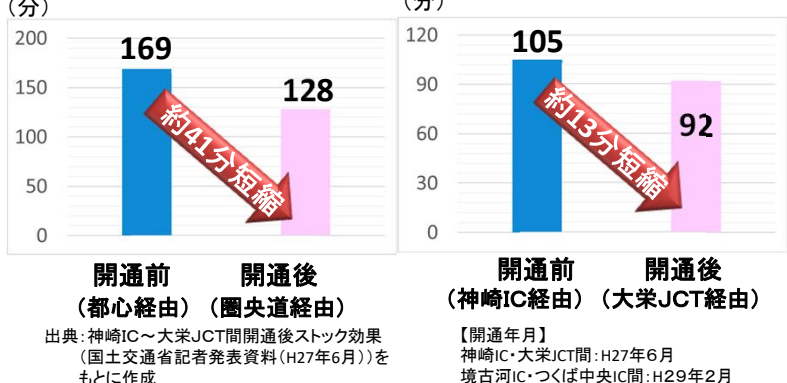
【千葉県観光入込客数】



充実する交通ネットワーク

- 開通により、成田空港と北関東方面を結ぶ広域ルートが形成され
- ・栃木・足利方面との所要時間が約41分短縮
- ・茨城・水戸方面との所要時間が約13分短縮

【地域経済の好循環～新たな広域ネットワークの形成～】



成田国際空港の更なる機能強化



- 事業概要**
- ・B滑走路の延伸 (滑走路延長2,500m→3,500m)
 - ・C滑走路の新設 (滑走路延長3,500m)
 - ・空港敷地拡張 (1,198ha→2,297ha)
 - ・工事完成予定期日 2029年3月31日まで

発着回数50万回時に期待される効果

項目	現在	今後
旅客数	4,000万人	約2倍 7,500万人
貨物取扱量	200万トン	約1.5倍 300万トン
空港内従業員数	4万人	約2倍 7万人

首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会 要望者一覧

千葉県知事	熊谷俊人
千葉市長	神谷俊一
木更津市長	渡辺芳邦
茂原市長	市原淳
成田市長	小泉一
東金市長	鹿間陸
市原市長	小出讓
君津市長	石井宏
富津市長	高橋恭
袖ヶ浦市長	粕谷智
八街市長	北村新
富里市長	五十嵐博
山武市長	松下浩
大網白里市長	金坂昌
神崎町長	椿平富
多古町長	麻生孝
芝山町長	佐藤淵
横芝光町長	馬田中
一宮町長	小高
睦沢町長	石井
長生村長	石岡
白子町長	月野
長柄町長	平
長南町長	

(令和6年8月1日現在)